

那須平成の森だより

自分だけの自然に出会う

第4回 「那須平成の森フィールドセンター」

那須平成の森のような自然環境
教育施設には、フィールド、拠点
施設、スタッフ（インタープリ
ター）、プログラムといった要素が
必要です。今回は、その中の拠点
施設を紹介します。

那須平成の森における拠点施設
は「フィールドセンター」（以下、
FC）と呼びます。FCは、栃木
県のマロニエ建築賞（※）に選ば
れていて、展示コーナー、ラウン
ジ、レクチャールーム、更衣室、
トイレ、事務室までできています。

また、別棟で作業小屋がありま
す。建物は木造で材質は八溝杉が、
ラウンジの床材には芦野石が使用
され、地元材がふんだんに使われ
ています。

このような建物の中で、お客さ
まとスタッフの架け橋となるもの
がさまざまな展示です。展示の多
くは、スタッフの手作りで、季節
ごとに入れ替わる更新型であるこ
とが特徴です。さらに「展示は壊
れるもの」をコンセプトにお客さ
まにどんどん触れてもらうように
しています。また、展示の解説は
読んで終わりの文章を極力減らし、
お客さまとスタッフとの会話に

よって、より展示物に興味を持っ
てもらえるように工夫をしていま
す。

その他にも、野の草花を生け花
にして季節感を出したり、二十四
節気、しめ縄、ひな祭り、端午の
節句、月見など、自然の移り変わ
りと日本文化を意識した展示を心
掛けています。



季節ごとに森で見つけた、たくさんの不思議



季節の生け花でお迎え。ガマズミ果実(9月)

ラウンジの一角には、図書コー
ナーも設けています。蔵書には、
絵本を中心とした幼児、児童向け
図書、自然保護団体が発行してい
る広報紙、芸術雑誌などを揃えて
います。また、「インタープリ
ターおすすめの一冊」と称して、
スタッフが読んでいる書物を、自
らの書評と共に紹介している机も
置いています。

私たちが一番心掛けているのは



絵本やおすすめの一冊を配した
図書コーナー。ホンダジカの角木

「居心地の良い空間を提供した
い」ということ。館内に流れる聴
き心地の良い音楽と、地元のカ
フェが入れたコーヒーを飲みなが
ら、ゆっくりくつろげる場所、そ
れがフィールドセンターです。ぜひ
一度お越しください。

（※）都市景観の形成、歴史、文
化の創造および建築水準の向上等
に寄与するものと認められる建築
物を表彰するもの（栃木県HPより）

那須平成の森フィールドセンター
センター長 若林正浩



「キンモクセイの香りが漂う
と、駅伝の季節がやってきたな
と感じる」と話す方がいました。
今年の町駅伝大会は新型コロナ
の影響により中止となりました
が、9月下旬から10月下旬に
かけて香るキンモクセイは、花
を見るより先に香りで気づくほ
ど豊かな香りで、気持ちを晴れ
やかにしてくれます。

秋の野山にこんな花が咲いて
いる、と万葉の歌人、山上憶良が
歌に詠んだことから、日本の秋
を代表する草花となったのは、
「萩、桔梗、葛、藤袴、女郎花、尾花
（すすき）、撫子」の秋の七草。葛
とはどんな花かと調べたり、七
草を覚えたりすると、秋の散策
が楽しくなりそうです。

ちなみに春の七草はおかゆに
入れて食べますが、秋の七草は
見て楽しむもの。くれぐれも食
されませんように。

「表紙は稲刈り」と決まっ
てから不安定な天候が続く、校了
日が迫る中、なかなか撮影がで
きず、ただ晴れることをずっと
祈っていました。

校了日前日、待ち望んだ秋晴
れの下、ようやく撮影。作業や
農産物の出来栄を天候に左右
される農業の大変さを改めて感
じました。

主食はやっぱり白飯が一番。
米農家の皆さん、おいしいお米
をありがとうございます。

こんにちは **赤ちゃん**

令和元年10月3日生

みすず **弦巻実涼** (上町)

父 憲行さん
母 景子さん

実涼ちゃんは…
お兄ちゃんの肩車が好き！みんなで仲良く大きくなろうね！

「こんにちは赤ちゃん」コーナーの写真を随時募集しています。
詳しくは総務課広報広聴係(☎72-6901)まで。

町の世帯と人口 (9月1日現在・住民基本台帳) ()の数字は前月比	・世帯数	10,404世帯 (+4)
	・人口	24,832人 (-19)
	男	12,350人(-4)
	女	12,482人(-15)

あなたの「声」をきかせてください
地域の身近な情報や、広報「那須」の感想・ご意見をお待ちしています。
お名前と連絡先とともに下記までお寄せください。